

# 事業評価シート（平成24年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	次期環境事業センター周辺地域整備事業		
事業担当	環境部 環境施設課		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'03	③〈循環型社会〉循環型社会をめざして環境負荷の少ない暮らし方を定着させる	
	'02	2 ごみの排出を抑制し、資源化を進める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 ○企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標		事業の概要
環境事業センターの円滑な運用を図るため、環境事業センター周辺地域の整備を進めます。		環境事業センターの円滑な運用を図るため、環境事業センター周辺地域の整備を進めます。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	次期環境事業センター周辺地域整備事業進捗率				単位	%
	説明・算定式	平成26年度を100%とした事業進捗率。H22:調査、H23・H24:検討、H25・H26:設計(平成24年度から)					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標			20	45		
	実績			16			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	②：若干遅れている						
	遅れている理由	地元との協議に時間を要しているため。					
平成24年度の主な取組と成果							
市民のふれあい(交流)ができる施設というコンセプトと、健康増進と福祉的機能を備えた複合施設として整備を行なっていくという基本方針のもと、地元と協議を行いました。							
平成24年度の検証結果	B：おおむね成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	地域の活性化や少子高齢化等による市民の健康増進施設のニーズが高くあります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	立地の特性を生かした施設整備に努め、満足度を高めま。将来的に近隣市町との交流増加が見込まれる地域にあることから有効性は高くあります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	余熱を有効利用する健康増進施設の設置は、市民だけではなく、近隣の事業所勤労者やスポーツ施設利用者の利用も見込まれます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	余熱を有効利用するため運営コストが削減されます。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		市民ニーズと立地の特性を生かした施設整備計画をまとめ、余熱利用施設の整備を進める必要があります。		

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		余熱利用施設用地の地質調査、測量	余熱利用施設の基本設計の検討	余熱利用施設基本設計の検討	余熱利用施設基本設計、整備手法検討
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	4,720	0	0	17,300
事業費 (A)		4,720	0	0	17,300
執行率 (%)		85.46	—	—	
内訳	職員 (人)	1.20	1.20	1.20	1.20
	再任用 (人)	0.50	0.50	0.00	0.00
人件費 (B)		11,616	11,406	9,618	9,538
フルコスト (A+B)		16,336	11,406	9,618	26,838

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の取組方針	子どもから高齢者まで多く市民に利用される施設づくりを経済性に配慮し進めます。
課長コメント	地元住民との協議も踏まえ、今後事業の具体的な検討を行っていきます。